



ホットピックス

■当センター職員が表彰されました

○川崎市環境功労者表彰

当センターの藤吉秀昭（副理事長）が、地域環境の向上等に顕著な功績により、10月30日に福田紀彦市長から環境功労者表彰を受けました。功績内容は以下の通りです。

【功績内容】

環境保全審議会、環境審議会委員として17年間、また、平成16年からは審議会の常設部会である廃棄物部会の部会長を15年間にわたり務め、一般廃棄物処理基本計画の策定等、廃棄物分野における多くの転換点において審議を行い、報告書を取りまとめるなど、川崎市の環境行政の推進に大きく貢献した。



藤吉秀昭（副理事長）

○環境大臣表彰

当センターの伊藤恵治（資源循環低炭素化部長）が、令和2年度廃棄物・浄化槽研究開発功労者として、10月22日に小泉進次郎環境大臣から表彰状を受けました。

地産電源である廃棄物発電に関して、発電の変動特性を平準化させることを通じて電力の安定供給の仕組みづくりの調査研究を進め、廃棄物発電のネットワークの実現に貢献したほか、「今後のごみ発電のあり方研究会」を通じて地域の低炭素化を提言してきたことが評価されました。



伊藤恵治（資源循環低炭素化部長）

■YKK AP「暮らしいいコト」セミナーでセンター職員が講演

YKK AP株式会社のWEB展示会の特設会場「暮らしいいコト」セミナーにおいて、当センター職員の堀口智博が「プロが教える！虫の行動から学ぶ網戸の選び方」を講演（動画配信）しています。

動画では、網戸の目の違いによって侵入する虫の数の違いを比較する実験等を通して、最適な網戸選びについて説明しています。

動画は、12月24日まで、以下のURL等から視聴できます。

「暮らしいいコト」セミナー

<https://www.ykkap.co.jp/exhibition/products/park2020/event/seminar/>



講演する堀口智博





ホットピックス

■「令和2年度我が国循環産業海外展開事業化推進のための研修」をオンラインで開催

当センターの国際協力部が「令和2年度我が国循環産業海外展開事業化推進のための研修」をオンラインで開催しました。

この業務は、環境省より委託を受け、我が国循環産業の海外展開を支援するため、日本の廃棄物処理・リサイクル政策及び技術の理解を促進するとともに、

各国において適切な廃棄物処理・リサイクルを推進する上で必要となる知識を習得することを目的として、海外の関係者を対象とした国内研修の企画・運営等を行うものです。

オンラインでの研修実施は、各国の通信環境により接続が不安定な場合がある等の課題もありますが、利点としては訪日研修に比べ、研修生のみならず職場の同僚や関係機関の方々など、学ぶ意欲をもった多くの方々に参加頂くことが可能になります。

10～11月にはフィリピン、カタール、モザンビーク、バングラデシュ、インド、イラン、フィジー、ロシアからオンライン参加があり、12月は、インドネシア、ネパール、カンボジア、モルジブ、サウジアラビアを対象に開催する予定です。

オンラインで研修を行っている様子（フィリピン）



■第13回川崎国際環境技術展に出展予定



当センターは、2021年1月21日（木）～2月5日（金）に、完全オンラインで開催される「第13回川崎国際環境技術展」に出展します。

参加する場合は、以下のURL等から事前登録が必要。

【来場登録】<https://www.kawasaki-eco-tech.jp/entry/>



SDGsへの取組

■当センターの働き方改革

当センターでは、SDGs（持続可能な開発目標）の目標の一つ、「8. 働きがいも経済成長も」を踏まえ、職員等のワークライフバランス向上のために多様な働き方が選択できることを目指して、働き方改革を推進しています。

既に暫定的なテレワークやオフピーク通勤を導入していますが、来年4月からの本格的な制度導入に向け、センター内にテレワーク制度導入プロジェクトを立ち上げ、様々な検討を重ねています。

チームはITインフラ検討WGとテレワーク制度検討WGに分かれており、前者はテレワークに適したPCの選定やグループウェアの刷新等を、後者は規定や実施要領の作成等を進めています。

8 働きがいも
経済成長も

